



発行：長崎県特別支援教育研究会
事務局：長崎県立佐世保特別支援学校
編集校：長崎県立佐世保特別支援学校
発行日：令和8年2月26日

第59回九州地区特別支援教育研究連盟研究大会〈長崎大会〉について

本年度は、本県において、「第59回九州地区特別支援教育研究連盟研究大会〈長崎大会〉」を開催した関係で、本研究会の研究大会を九特連研究大会と同時開催（紙上報告）しました。まずは、その九特連研究大会の概要を報告します。



【第59回九州地区特別支援教育研究連盟研究大会〈長崎大会〉】



- 大会主題** 共生社会の中で多様な子供の可能性を引き出す特別支援教育の推進
～学びの連続性と学びの場の充実に向けて～
- 日時** 令和7年8月1日（金） 9：30～16：20
- 場所** アルカスSASEBO （佐世保市三浦町2-3）
- 開催方法** 集合型とオンライン（オンデマンド）型を組み合わせたハイブリッド形式
- 参加者数** 536名（内オンデマンド型119名、長崎県内388名）



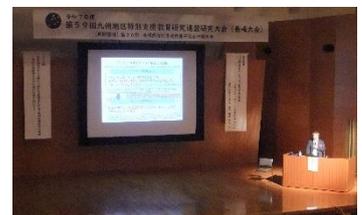
6 日程

9:00 9:30 10:05 12:00 13:00 16:00 16:20

受付 開場	開会 行事	記念講演	昼食 休憩	分科会 (提案①、提案②)	閉会 行事
----------	----------	------	----------	------------------	----------

7 記念講演について（当日の動画は、長特研 HP の「九特連参加者専用ページ」に掲載中）

- 演題** 「多様な子供へのキャリア発達支援と評価～キャリアパスポートの活用を通して～」
- 講師** 菊地 一文 氏
弘前大学大学院 教育学研究科教職実践専攻 教授
全日本特別支援教育研究連盟副理事長



(3) 内容

①キャリア発達の視点とは、②キャリア発達の視点を踏まえた授業づくりと評価、③「対話」を通して学びをつなぎ、意味付けるためのキャリアパスポート、という三つの構成での講演でしたが、「できる」「できない」の間で子供たちのキャリア発達が促されること、評価においては、子供たちにどのような変化があったか、内面に育ちはあったかなどに着目すること、「対話」を通して子供を理解し、学びをつないでいくことの大切さなどについて、

菊地先生が実際に出会った子供たちとの対話を例示されながら、わかりやすくご教示いただきました。参加者アンケートからは、「キャリアパスポートの作成や活用のポイントが分かった」「キャリア発達について新たな学びがあった」「子供との対話の中で心情や背景、展望など焦点を絞って話を聞き出す工夫の大切さが分かった」などの感想があり、参加者にとっても、キャリア教育を進めていく上で必要な視点や、キャリアパスポートを作成する意味や活用法などを確認できたものと考えます。

8 分科会について

本研究大会では1～5の分科会と、開催県が独自にテーマを設定する6・7分科会があり、各分科会の提案①は特別支援学校、提案②は小・中学校より提案がありました。提案後は分科会ごとのテーマに沿った研究協議を行い、専門家による指導助言を受けました。

【各分科会】(当日の動画や記録などは、長特研 HP の「九特連参加者専用ページ」に掲載中)

(1) 第1分科会 各教科等の指導(小学校段階)

テーマ「学習内容の系統性や(他教科等との)関連性を踏まえた教科別指導のあり方」

○提案①「児童一人一人の学びのつながりを大切にした授業づくり」

・提案者：佐賀県立伊万里特別支援学校 教諭 山口 美里・松井 亜里更

・助言者：佐賀県教育委員会事務局教育振興課特別支援教育室 指導主事 園田 洋平

○提案②「児童の特性を理解して学びやすさにつながる ICT の活用等指導方法の実践」

・提案者：大分県中津市立大幡小学校 教諭 道下 梨菜

・助言者：長崎県教育センター研修部教育支援研修課 課長 伊東 健史

(2) 第2分科会 各教科等の指導(中学校・高等学校段階)

テーマ「学習内容の系統性や(他教科等との)関連性を踏まえた教科別指導のあり方」

○提案①「高等部「職業」における主体的・対話的な学び

～タブレット型端末の活用を通して～

・提案者：大分県立臼杵支援学校 主幹教諭 香川 昌範

・助言者：大分県教育委員会特別支援教育課 指導主事 首藤 武範

○提案②「学習の系統性や(他教科等との)関連性を踏まえた教科別指導のあり方

～英語科における指導方法の工夫とエリアサポート体制を生かした指導の充実に向けて～

・提案者：宮崎県小林市立細野中学校 教諭 曾木 玲菜

・助言者：長崎県教育庁特別支援教育課 参事 宮尾 尚樹

(3) 第3分科会 各教科等を合わせた指導

テーマ「一人一人の児童生徒の生きる力を育む各教科等を合わせた指導のあり方」

○提案①「ふれあい業間交流を取り上げた生活単元学習の実践

～「授業シート」を活用して～

・提案者：宮崎県立小林こすもす支援学校 教諭 山田 慧美

・助言者：宮崎県教育庁特別支援教育課 指導主事 斎藤 志保

○提案②「教科の学習で身に付けた力を「生きて働く力」へとつなぐ生活単元学習の在り方」

・提案者：鹿児島市立田上小学校 教諭 徳留 敦

・助言者：長崎県立希望が丘高等特別支援学校 校長 川波 寿雄

(4) 第4分科会 キャリア教育・進路指導

テーマ「児童生徒がやりがいをもって自己のキャリアを形成し、主体的に自立と社会参加を目指すための進路指導のあり方について」

○提案①「生徒が自らの課題を把握し、やりがいをもって主体的に取り組む進路指導のあり方について～高等部・委託作業班の事例より～」

- ・提案者：鹿児島県立南薩特別支援学校 教諭 豊倉 和樹
- ・助言者：鹿児島県教育庁特別支援教育課 指導主事 四ツ永 信也

○提案②「一人一人の思いに寄り添った進路指導の充実を目指して

～個に応じた進路選択を実現するために～」

- ・提案者：水俣市立水俣第一中学校 教諭 田口 大輔
- ・助言者：長崎県教育庁特別支援教育課 課長補佐 中尾 敏光

(5) 第5分科会 自立活動

テーマ「多様な教育的ニーズのある児童生徒の可能性を引き出す自立活動」

○提案①「トークングブリックスやカードを活用したコミュニケーションの取組～自分の行きたい場所を報告して移動することを目指して～」

- ・提案者：熊本県立天草支援学校 教諭 児玉 知夏
- ・助言者：熊本県教育庁県立学校教育局特別支援教育課 指導主事 福本 幹彦

○提案②「自分の特性や困難さに気づき 改善・克服しようとする生徒の育成

～周囲の理解、連携、見守り 島だからできること～」

- ・提案者：沖縄県竹富町立竹富中学校 教諭 石垣 絵美
- ・助言者：長崎県立虹の原特別支援学校 校長 分藤 賢之

(6) 第6分科会 交流及び交流学习

テーマ「共生社会の実現に向けて、相互に理解を深め合う交流及び共同学習のあり方」

○提案①「併設型高等支援学校における交流及び共同学習の実践

～併設高校との合同授業を通して～」

- ・提案者：沖縄県立南風原高等支援学校 教諭 金城 義樹
- ・助言者：沖縄県教育庁県立学校教育課特別支援教育室 指導主事 松尾 道代

○提案②「共生社会の実現に向けた集団づくり ～様々な活動場面での取組を通して」

- ・提案者：宮若市立宮若東中学校 教頭 大倉 雅徳
- ・助言者：長崎県教育センター研修部教育支援研修課 係長 福田 和代

(7) 第7分科会 発達障害への指導・支援

テーマ「様々な学びの場における、個に応じた適切な指導・支援のあり方」

○提案①「失敗を恐れず自ら挑戦する意欲を高める指導

～失敗や困難を避けて行動することを諦めてしまう生徒の前向きな姿勢の育成を目指す～」

- ・提案者：北九州市立小倉南特別支援学校 教諭 芳賀 菜々子
- ・助言者：北九州市教育委員会特別支援教育課 指導主事 松川 亜沙美

○提案②「学校行事への参加（出番・役割・承認）を通して生徒の自信と社会性を引き出す支援 ～自立活動の工夫および組織的な対応を通して」

- ・提案者：佐賀県みやき町立中原中学校 教諭 待鳥 由布子
- ・助言者：長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科 教授 柳 智盛

<p>第5分科会</p>	<p><自立活動> ○多様な教育的ニーズのある児童生徒の可能性を引き出す自立活動</p>	<p>「自立活動の指導の充実に向けた取組～外部 専門家を活用した指導実践～」 長崎県立川棚特別支援学校 教諭 竹添 公太 教諭 佐藤 照幸</p>
--------------	--	---

長特研総会や研究大会に係る報告が遅くなり、申し訳ございませんでした。次年度の長特研総会および夏季研究大会は、令和8年7月30日に東彼杵町総合会館で開催する予定です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。